

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '市設置型浄化槽整備使用料徴収事業' and '下水道の整備'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on '桜川市市設置型浄化槽設置及び管理に関する条例' and '業務費の内訳'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for ①手段, ②対象, ③意図 and 5 columns for 28-32年度. Includes metrics like '活動指標 (活動量を表す指標)', '対象指標 (対象の大きさを表す指標)', and '成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, 人件費) for 28, 29, and 30 years.

Table comparing 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費予算 (千円) with items like 12 役務費, 13 委託料, 19 負担金補助及び交付金.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 30, 31, and 32年度 of implementation content. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of main activities.

事務事業名	市設置型浄化槽整備使用料徴収事業	事務事業No.	50503000130	所属課	下水道課
-------	------------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年度に事業を開始した、当初より負担金、使用料を設定し徴収方法は水道事業と同じに徴収している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 使用料金は公共下水道、集落排水事業と統一化が可能か、負担金は公共下水道、集落排水と比較すると浄化槽設置が安い。工事代金は定額であるが使用料を支払うのは、自己管理より高額である場合もある。適正な維持管理を継続していく。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 各事業との連携、協議が必要
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 使用者から使用料を徴収し適切な事業経営ができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 浄化槽は市で維持管理して水質浄化をしている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 未納者が増えないように広報や使用者に対し説明が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 財源の減により事業の廃止、水質の悪化につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 水道事業と統合している。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 徴収業務を専門に設立し経費の共有化を進める。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 条例に基づき、使用者から負担金を徴収しているので原則的に公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 上下水道部内でデータの共有化を図ることによって効果的な徴収業務をおこなえた。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成30年度からは市設置型浄化槽事業は行われなくなるため、使用世帯の増加はなしである。使用料においては未納額は多額ではないのと、平成31年1月から業務委託になるため、高割合の徴収率になるか見込めると考えられる。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---